

前回のふいかえり(H30年度 第3回 8/2開催)



企業の取り組みを知る part 2 ～セブンイレブンの配達～

地域での支えあいの仕組みをつくっていくためには、今後、地域にある施設や企業、商店など、様々なところとの連携が必要になってきます。そこで、まずは、身近にある企業の取り組みについて勉強することになりました。

今回は、セブンイレブン大刀洗本郷店の多田さん兄弟に報告いただきました。(※弟さんがオーナー、お兄さんが店長をされています。)多田さんは小郡市内2店舗、大刀洗町内1店舗を経営されており、10年ほど前から、独自の取り組みとして、配達を実施。きっかけは、買い物をして、重い荷物を運べない高齢者をお手伝いしたことから。配達の取り組みは口コミで広がっていき、現在、小郡市内で約200名が登録、配達件数は日本一とのこと。速やかに配達ができるよう、配達専門スタッフ(クロネコヤマトで勤めた経験があるため、頭の中に地図が入っている!!)を配置し、配達専用の電気自動車を導入しています。また、支払いはポイントがつくため、nanacoカードを利用される方が多いとのこと。¥108につき1ポイントつくので、毎日配食を利用している人は、年間で10,000ポイント以上貯まり、このポイントでお節料理やお中元を買われる方もいらっしゃるとのこと。



<セブンミールとは??>

現在、(株)セブン-イレブン・ジャパンが実施する「セブンミール」は、会員登録することにより、カタログやインターネット専用ページで500円(税込)以上の注文をすると、無料で自宅や職場に商品を配達してもらえるサービスです。店頭にはない、健康志向のお弁当や限定スイーツ、日用品など様々な商品が注文できます。高齢者に限らず、子育て中の方、仕事上なかなか席を外せない方(病院関係、美容室など)から多く利用されているそうです。

※「セブンミール」は、今年の9月頃より、無料配達の条件が¥3,000(税込)以上の購入に変更になる予定ですが、多田さんの店舗では、店舗受け取り→配達という方法で無料配達いただけるとのこと。



<メンバーのみなさんより>

○こんなサービスがあるなんて知らなかった!

○小地域協議会などで、このサービスがあることを案内してみても?

○2年ほど前から、セブンイレブン大刀洗本郷店より、担当している高齢者夫婦宅へ食事を配達してもらっており、定期的に配達時の様子を知らせてもらえるので、とても助かっている。

地域には自分で外に出られると出られない人がいますが、セブンイレブンの配達を利用されている方のほとんどは、外に出られない人だそうです。配達はとても便利ではありますが、安易に便利なサービスを利用したい人が増えすぎると、この配達の継続が難しくなってしまうことも考えられます。「本当に困っている人を助けたい。」と奉仕の精神で配達を継続されている多田さん。この取り組みが続くためには、利用する側の理解と配慮も重要なようです。

今後、その人の生活、その地域にあった、買い物や移動手段などが選べるように、将来を見据えて、必要な仕組みを考えていくための校区别勉強会を開催する予定です。ここには、地域のみなさんだけでなく、企業や社会福祉法人などの方々にも参加いただき、それぞれの立場からできることを考えていく場にできればと考えておりますので、ご近所の方やご友人なども一緒にご参加いただくと幸いです。

(生活支援コーディネーター)

